

# 「協働教育推進総合事業」(平成23年度～平成27年度)(別紙1)

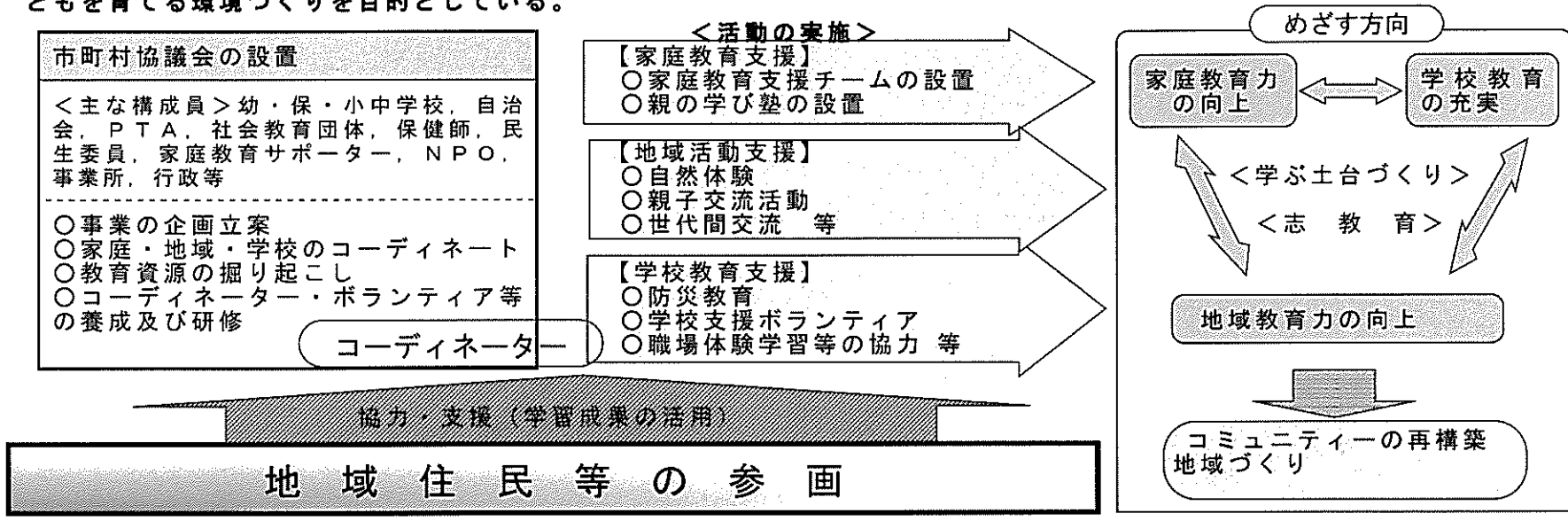
宮城県生涯学習課

## 〔背景〕

家庭・地域・学校がそれぞれの役割を認識し、地域全体で子どもたちを育てることが必要不可欠である。社会経済構造が大きく変化している今、旧来あった地域や家庭の教育機能をそのまま取り出すということは困難であり、地域社会の現状を踏まえ、地域・家庭の教育力を現代的に高め、再構築するということが必要である。  
宮城県の重点的取組である「学ぶ土台づくり」「志教育」はいずれも地域・家庭の教育力に関わりが大きい。これらの取組を進めていくためにも、地域・家庭・学校の調整(コーディネート)を行う仕組みづくりを進め、地域(家庭を含む)の教育力を向上させる必要がある。

## 〔協働教育プラットフォーム事業〕(市町村事業)

家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを行い、地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子どもを育てる環境づくりを目的としている。



県の事業

〔協働教育基盤形成事業〕…家庭・地域・学校の連携・協働を促進するための研修会の開催

〔教育応援団事業〕…子どもの教育活動を支援する個人や事業所等を「みやぎ教育応援団」として認証・登録してリストを作成し活用の仕組みを作り、HP等で情報提供していく。

〔協働教育普及・振興事業〕…協働教育の普及・振興を図るために協働教育推進の功績者表彰等を行う。